

行仙宿で田中律子、中前偉両氏の追悼登山と補給路拡幅作業

◇実施日 9月23日(月) 晴

◇参加者 沖崎吉信、児嶋道夫、阪口雄二、松本吉殖、湯川一郎、森奈良好、畑林秀味・清子、大江加予子・徳子、須崎由香、梶野照雄、山本直子、志岐敬、瀧本昭太郎、榊本真仁

熊野修験 杉山忠英、成田瀧英

中前家 中前晨太郎、中前富子、西本稔・三都子 22名

田中律子さんは山彦発足4年後の昭和53年6月11日、48名での八郎山登山に参加されて以来、約30年在籍された。中辺路町のご出身で、熊野高校では登山部に所属され、植物や花の名前もよく教えていただいた。

田中律子さんと言えば大江さんとのコンビで、来宿し一泊される修験団体や山岳会の接待では毎回頑張っておられた。また一般山行でも都度たくさんのおかずを持参され、毎回ご相伴にあずかった。後年は体調を崩され、長年投薬治療を続けられていたが、本年6月13日85歳で逝去された。改めてご冥福をお祈りいたします。

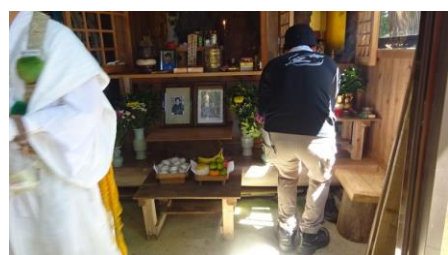
中前偉君は若い時から山登りが趣味で、近郊の山から北アルプスなど、広範囲に登っていたようだ。また信仰心もあり、熊野修験にも参加され修験の山にも相当数登っておられた。



中前家の4名を紹介



水も運んだ



お堂の準備

山彦へは13年くらい前に初参加され、色々ご協力をいただいた。特にここ数年は慰霊登山や行仙宿のお堂での勤行で導師を務められ、皆をリードしていただいた。また、他団体との登山では行者装束に法螺を持参され、参加者に喜ばれたり、無くてはならない存在だった。

4年ほど前に「ガン」を告知されたが、以後は抗ガン剤治療を続けながら何度も行事に参加された。抗がん剤の副作用で苦しい日もあったようだが、昨年10月7日の南伊勢町龍仙山登山が最後となり、今年の2月27日67歳で生涯を閉じられた。

これからの山彦を背負っていただけると、期待が大きかったので痛恨の極みである。ご冥福をお祈り申し上げます。

当日は中前家から4名の方々を含め、22名の参加をいただいた。役場駐車場に集まり、午前9時40分に登山口に着いた。

中前家の皆さんと初参加の須崎さんを紹介、本日の予定をお伝えして登り始める。児嶋さんが運転するモノレールに中前さんの奥様とお姉さんが乗り込み、荷物と一緒に終点に向かった。荷揚げが必要な荷物が多数残ったので、梶野、沖崎が荷揚げのため待機する。モノレールは片道15分ほどかかるので、降りてくるまでに30分、荷物の積み下ろしの時間を加えると終点に着くのは50分ほど後になる計算だ。



遺影も置いた



追善供養



本日の参加者

終点のコジマハウスから各々荷物を持ち小屋へ向かう。午後から補給路拡幅工事を行うので、必要な道具を現場まで運んだ。

小屋に着き、女性陣中心にお堂の片付けやお供えの準備などが手早く進められた。

全員が行者堂に集まり、杉山行者の法螺、成田行者の導師で田中、中前両氏の供養が始まった。大峰75摩奥駆勤行次第と、丁寧な念仏まで唱えていただいた。田中、中前両氏もきつと喜んでいただけ

たことだろう。

15日の取材協力行事に続いてご出仕いただいた杉山、成田行者に改めて厚くお礼申し上げます。



小屋で昼食



拡幅工事



須崎さんもハンマーを

12時も近くなり、小屋に入って昼食を摂る。今回参加された中前君の義兄の西本さんは大工さんで、木下棟梁と同門で、兄弟分となるようだ。こやの建屋を見て「立派なものだけに木下さんも大変だっただろう」と話された。

昼食後、皆さんは拡幅工事に向かわれたが、中前家の4名と初参加の須崎さんには小屋に残っていたとき、大峰の事、山彦の活動の事、修験道の事などを50分程度お話しさせていただいた。

山に登る、山道を歩くという経験が無かったため、当初は不安や心配があったらしいが、少し歩くと自信が付き、不安も消えたよう。帰りはモノレールを使わず歩いて下山された。

山彦の皆さんの活動を拝見し、またお話もお聞きし、立派な供養

もしていただき、本当に来てよかった。ありがたかった。とのお言葉をいただき皆さん帰路に着いた。ご子息の晨太郎君にも山彦に加わっていただくようお願いした。



う回路がほぼ完成



下山

拡幅工事現場に行くと、児嶋さんは谷川の路肩に石を並べてモルタルで固定する作業をしていた。梶野君は途中の岩を削るのが困難な箇所とう回路を作っていた。3週連続で大人数の作業が続いたので100m位は進んだようだが、先はまだ長い。皆さん安全第一でボチボチやりましょう。(記・沖崎)

行動タイム

下北山村役場 09：10→09：44 補給路登山口→10：50 ロジマハウス
→11：08 行仙宿 12：50→12：58 拡幅工事現場→14：46 行仙宿 14：52→ロジマハウス 14：13→14：40 補給路登山口